

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成23年12月分)

大 阪 市 港 湾 局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

事後調査の概要

- | | |
|-----------|-----|
| 1．調査概要 | - 1 |
| 2．工事の実施状況 | -10 |
| 3．調査結果の概要 | -11 |

事後調査結果

- | | |
|-------|-----|
| 1．大気質 | - 1 |
| 2．水質 | - 9 |

事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 23 年 12 月の事後調査の概要は表 - 1 に、調査地点の位置は図 - 1 に示すとおりである。

埋立地周辺における調査

表 - 1 (1) 事後調査の概要 (平成 23 年 12 月)

表 - 1 事後調査の概要 (平成23年12月)

(1)大気質 (図 - 1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	12月1日～31日	通年連続

(2)水質

一般項目 (図 - 1(1)参照)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 [1, 2, 3, 4, 5] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	12月6日	1回/月
その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

埋立中の濁り等監視(廃棄物処分場周辺) (図 - 1(2)参照)

- 1 放流水、内水及び護岸外周(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
濁度 水温 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO)	放流水 1点	12月1日～28日	連続測定
浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS)	放流水 1点 内水 1点	12月6,13,20,27日	1回/週
水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 全窒素(T-N)	(処理原水)	12月6日	1回/月
全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数			4回/年 (5月、8月、11月、2月)
透明度 水温 塩分 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P) n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) [19, 20, 21] 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)

表 - 1 (2) 事後調査の概要 (平成 23 年 12 月)

- 1 放流水、内水及び護岸外周(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
健康項目等 カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 ほう素 ふっ素 アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)	放流水 1点 内水 1点 (処理原水) 護岸外周 3点×2層 (護岸から30m) 【19, 20, 21】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
1,4-ジオキサン ダイオキシン類	1,4-ジオキサンは護岸外周のみ調査 ダイオキシン類は上層のみ調査		放流水 4回/年 (5月、8月、11月、2月) 内水 2回/年 (8月、2月) 護岸外周 1回/年 (8月)

表 - 1 (3) 事後調査の概要 (平成 23 年 12 月)

- 2 処分場周辺

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) 不揮発性浮遊物質(FSS) 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P) クロロフィルa n-ヘキサン抽出物質 大腸菌群数	6点(護岸から500m)×2層 【13,14,15,16,17,18】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m n-ヘキサン抽出物質は上層のみ調査 大腸菌群数は上層のみ調査		4回/年 (5月、8月、11月、2月)
カドミウム 全シアン 鉛 六価クロム 砒素 総水銀 アルキル水銀 PCB ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 フェノール類 銅 亜鉛 溶解性鉄 溶解性マンガン 全クロム 陰イオン界面活性剤 有機燐 1,4-ジオキサン			2回/年 (8月、2月)

表 - 1 (4) 事後調査の概要 (平成 23 年 12 月)

(3)底質

一般項目

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	4点(表層土) [2, 3, 4, 5]		2回/年 (8月、2月)

廃棄物等埋立中の監視(廃棄物処分場周辺)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
一般項目 粒度組成 含水率 強熱減量 化学的酸素要求量(COD) 硫化物 全窒素(T-N) 全磷(T-P) 酸化還元電位	1点(表層土) [15]		2回/年 (8月、2月)
有害項目<含有量試験> アルキル水銀 総水銀 カドミウム 鉛 有機燐 六価クロム 砒素 シアン PCB 銅 亜鉛 ふっ化物 トリクロロエチレン テトラクロロエチレン ベリリウム クロム ニッケル パナジウム 有機塩素化合物 ジクロロメタン 四塩化炭素 1,2-ジクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,3-ジクロロプロペン チウラム シマジン チオベンカルブ ベンゼン セレン			

表 - 1 (5) 事後調査の概要 (平成 23 年 12 月)

(4) 騒音・低周波空気振動

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
騒音レベル 低周波空気振動音圧レベル	1点 (大阪南港野鳥園)		2回 / 年 (4月、10月)

(5) 悪臭

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
臭気強度 臭気指数 特定悪臭物質濃度	1点 (大阪南港野鳥園)		2回 / 年 (8月、9月)

(6) 陸域生態系(鳥類)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
鳥類の生息状況	4点 [a、b、c、d]		4回 / 年 (5月、6月、8月、2月) (2年おきに実施)

廃棄物搬入施設周辺における調査

廃棄物搬入施設

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
大気質 二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [2、3] 堺基地 : 2点 [1、2] 泉大津基地 : 2点 [A、B]		1週間×4回 / 年 (5月、8月、11月、2月)
騒音 道路交通騒音レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [2、3] 堺基地 : 2点 [1、2] 泉大津基地 : 2点 [A、B]		2回 / 年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
振動 道路交通振動レベル	搬入ルート沿道 大阪基地 : 2点 [2、3] 堺基地 : 2点 [1、2] 泉大津基地 : 2点 [A、B]		2回 / 年 (操業時間帯に実施) (5月、11月)
交通量 廃棄物輸送車 一般車	搬入ルート沿道 大阪基地 : 3点 [1、2、4] 堺基地 : 4点 [1、2、3、4] 泉大津基地 : 3点 [A、B、C]		4回 / 年 (操業時間帯に実施) (5月、8月、11月、2月)
悪臭 臭気強度 臭気指数	敷地境界 大阪基地 : 2点(風上、風下) [5、6] 堺基地 : 2点(風上、風下) [5、6] 泉大津基地 : 2点(風上、風下) [D1、D2]		2回 / 年 (6月、8月)

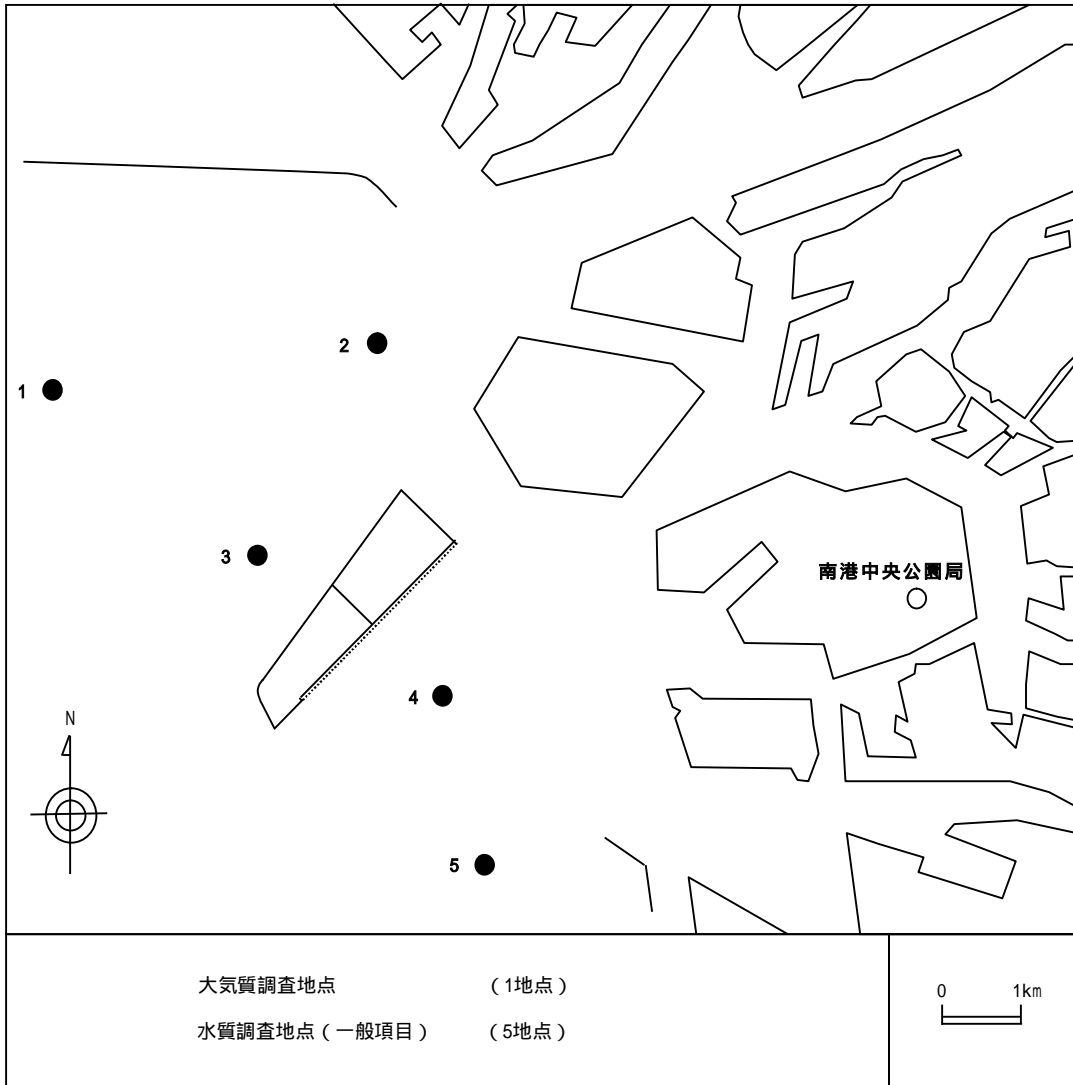


図 - 1(1) 大気質、水質(一般項目)の調査地点(平成 23 年 12 月)

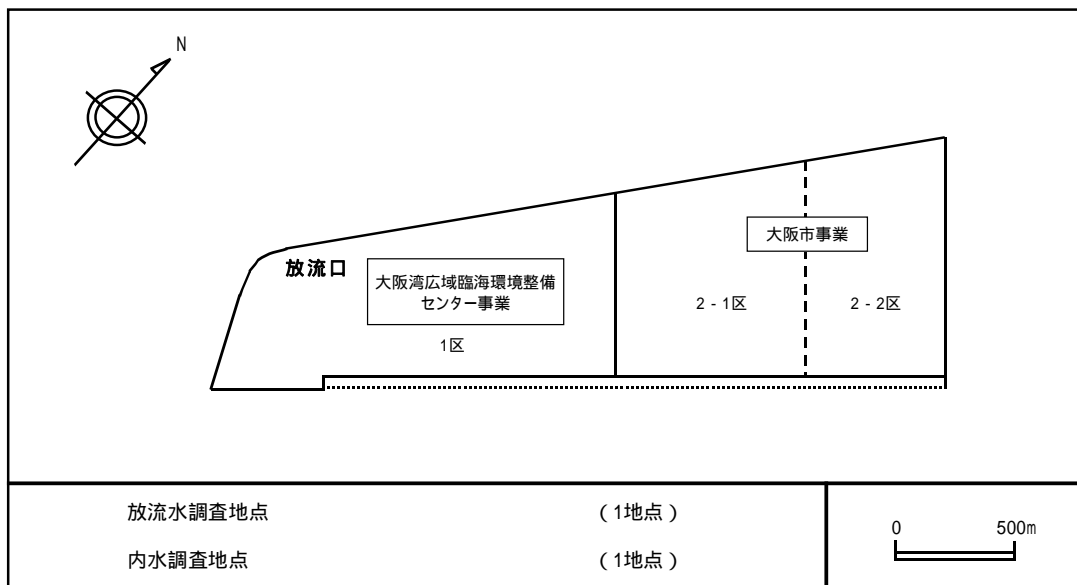
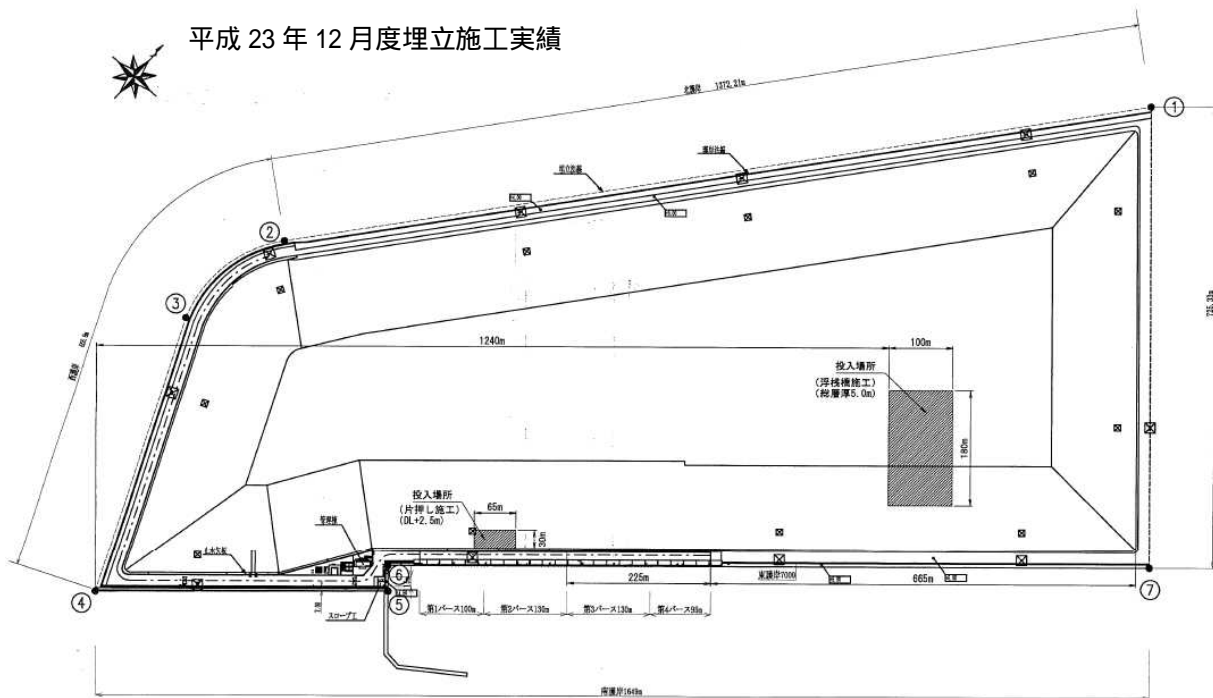


図 - 1(2) 水質(埋立中:放流水、内水)の調査地点(平成 23 年 12 月)

2. 工事の実施状況

平成 23 年 12 月の工事の実施状況は、図 - 2 に示すとおりである。

大阪沖埋立処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
1,434,527	10.3

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図 - 2 工事の実施状況 (平成 23 年 12 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄 (SO₂) の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.010ppm、1時間値の最高値は 0.017ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素 (NO₂) の月平均値は、0.024ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.044ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.017mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.039mg/m³、1時間値の最高値は 0.063mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

一般項目 [水質様式第1号]

- 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】
水素イオン濃度 (pH) は上層でいずれも 8.0、下層でいずれも 8.0 であり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値の範囲内であった。
- 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】
化学的酸素要求量 (COD) は上層で 1.2～2.0mg/L、下層で 1.0～2.0mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
- 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】
溶存酸素量 (DO) は上層で 7.6～7.9mg/L、下層で 6.6～7.0mg/L の範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を満たしていた。
- 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】
全窒素 (T-N) は上層で 0.53～0.77mg/L、下層で 0.33～0.37mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 5 以外の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。
環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.70mg/L)、調査地点 2

(0.74mg/L)、調査地点3(0.77mg/L)、調査地点4(0.70mg/L)であったが、事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は、0.46~2.1mg/Lであり、いずれもこの範囲内であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐(T-P)【環境基準値:0.05mg/L以下】

全燐(T-P)は上層で0.034~0.047mg/L、下層で0.029~0.033mg/Lの範囲にあり、上層、下層共に全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

6) 濁度

濁度は上層でいずれも報告下限値未満(<1度(カリ))、下層で1~3度(カリ)の範囲であった。

7) 浮遊物質(SS)

浮遊物質(SS)は上層で1~3mg/L、下層で1~3mg/Lの範囲であった。

8) 加コイルa

加コイルaは上層で1~2μg/L、下層で1~2μg/Lの範囲であった。

- 1 放流水、内水及び護岸外周 [水質様式第 6 ~ 9 号]

1) 放流水 (連続測定)

濁度は、0.3 ~ 0.5 度 (カリ) (平均値 0.4 度 (カリ)) の範囲であった。

水温は、9.4 ~ 17.5 (平均値 12.5) の範囲であった。

pH は、7.6 ~ 8.0 の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、5.0 ~ 8.2mg/L (平均値 7.1mg/L) の範囲にあり、測定期間を通じて放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

DO は、7.3 ~ 8.9mg/L (平均値 8.2mg/L) であった。

注：放流槽 DO 計及び水温計の設置により、12 月から放流槽データに変更。
(これにより監視 5 項目全て放流槽データとなった。)

2) 放流水、内水

・放流水

SS は、1.8 ~ 3.0mg/L (平均値 2.4mg/L) の範囲にあり、全測定を通じて放流水の基準値 (60mg/L) 及び管理目標値 (50mg/L) を下回っていた。

FSS は、1.1 ~ 1.6mg/L (平均値 1.3mg/L) の範囲であった。

pH は、7.7 であり、放流水の基準値及び管理目標値 (5.0 以上 9.0 以下) の範囲内であった。

COD は、9.6mg/L であり、放流水の基準値 (90mg/L) 及び管理目標値 (40mg/L) を下回っていた。

T-N は、3.9mg/L であり、放流水の基準値 (120mg/L、日間平均 60mg/L) 及び管理目標値 (30mg/L) を下回っていた。

・内水

SS は、2.9 ~ 5.3mg/L (平均値 3.9mg/L) の範囲であった。

FSS は、1.7 ~ 2.5mg/L (平均値 2.0mg/L) の範囲であった。

pH は 8.4、COD は 14mg/L、T-N は 4.8mg/L であった。

3) 護岸外周

12 月は実施せず。

- 2 処分場周辺

12 月は実施せず。

(3) 底質

12月は実施せず。

(4) 騒音・低周波空気振動

12月は実施せず。

(5) 悪臭

12月は実施せず。

(6) 陸域生態系(鳥類)

12月は実施せず。

廃棄物搬入施設周辺における調査

12月は実施せず。

《 参 考 》 環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項 目	基 準 値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2) 水質

水質（海域）

類型	項 目	基 準 値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質(油分等)	検出されないこと
	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全磷 (T-P)	0.05mg/L 以下

- 注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。
2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。
公共用水域における環境基準(BOD又はCOD)の評価方法について（昭和52年環水管52号）
- (1) 環境基準の水域累計を指定する際の水質測定結果の評価方法について
環境基準の水域累計をあてはめるための水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類計の基準値を満たしているデータ数の占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。
75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さい者から順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値とする。（0.75×nが整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。）
- (2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。
- (3) 複数の環境基準点をもつ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 規制基準等

(1) 水質

水質（放流水・一般項目）

処分場	項目	基準値	管理目標値
管理型最終処分場	水素イオン濃度 (pH)	5.0 以上 9.0 以下	同左
	化学的酸素要求量 (COD)	90mg/L 以下	40mg/L 以下
	浮遊物質 (SS)	60mg/L 以下	50mg/L 以下
	窒素含有量 (T-N)	120mg/L (日間平均60mg/L) 以下	30mg/L 以下
	磷含有量 (T-P)	16mg/L (日間平均 8mg/L) 以下	4mg/L 以下
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (n-ヘキサン抽出物質)	鉱油類含有量 : 5mg/L以下 動植物油脂類含有量 : 30mg/L以下	同左
	大腸菌群数	日間平均 3000個/cm ³ 以下	同左

注) 1. 放流水の基準値は、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令別表第一より抜粋。

2. 管理目標値は、事後調査計画書における調査結果の評価や対策を実施するために定めたもの。

事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表[平成23年12月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第2号（埋立地関連）

二酸化硫黄測定結果[平成23年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.003	0.005
	2 (金)	0.004	0.016
	3 (土)	0.004	0.009
	4 (日)	0.003	0.005
	5 (月)	0.005	0.015
	6 (火)	0.007	0.013
	7 (水)	0.007	0.016
	8 (木)	0.005	0.008
	9 (金)	0.004	0.005
	10 (土)	0.005	0.012
別	11 (日)	0.004	0.005
	12 (月)	0.007	0.016
	13 (火)	0.005	0.011
	14 (水)	0.008	0.016
	15 (木)	0.008	0.013
	16 (金)	0.004	0.007
	17 (土)	0.004	0.008
	18 (日)	0.005	0.007
	19 (月)	0.005	0.012
	20 (火)	0.005	0.010
値	21 (水)	0.008	0.014
	22 (木)	0.010	0.017
	23 (金)	0.003	0.006
	24 (土)	0.005	0.012
	25 (日)	0.004	0.006
	26 (月)	0.004	0.008
	27 (火)	0.004	0.012
	28 (水)	0.005	0.009
	29 (木)	0.008	0.014
	30 (金)	0.003	0.006
	31 (土)	0.005	0.009
有効測定日数（日）		31	
測定時間（時間）		739	
月平均値（ppm）		0.005	
日平均値の最高値（ppm）		0.010	
1時間値の最高値（ppm）		0.017	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果[平成23年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.006	0.017
	2 (金)	0.018	0.054
	3 (土)	0.008	0.040
	4 (日)	0.002	0.008
	5 (月)	0.028	0.188
	6 (火)	0.026	0.080
	7 (水)	0.068	0.204
	8 (木)	0.015	0.064
	9 (金)	0.006	0.018
	10 (土)	0.020	0.067
別	11 (日)	0.003	0.025
	12 (月)	0.052	0.223
	13 (火)	0.039	0.158
	14 (水)	0.041	0.127
	15 (木)	0.035	0.152
	16 (金)	0.004	0.009
	17 (土)	0.012	0.098
	18 (日)	0.002	0.005
	19 (月)	0.005	0.014
	20 (火)	0.007	0.033
値	21 (水)	0.041	0.140
	22 (木)	0.037	0.230
	23 (金)	0.002	0.004
	24 (土)	0.025	0.138
	25 (日)	0.001	0.002
	26 (月)	0.006	0.024
	27 (火)	0.034	0.191
	28 (水)	0.048	0.134
	29 (木)	0.053	0.181
	30 (金)	0.002	0.006
	31 (土)	0.006	0.031
有効測定日数（日）		31	
測定時間（時間）		741	
月平均値（ppm）		0.021	
日平均値の最高値（ppm）		0.068	
1時間値の最高値（ppm）		0.230	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果[平成23年12月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日 別	1 (木)	0.018	0.029
	2 (金)	0.027	0.037
	3 (土)	0.020	0.040
	4 (日)	0.011	0.035
	5 (月)	0.029	0.054
	6 (火)	0.039	0.051
	7 (水)	0.038	0.062
	8 (木)	0.027	0.041
	9 (金)	0.016	0.031
	10 (土)	0.026	0.044
	11 (日)	0.015	0.040
	12 (月)	0.032	0.052
	13 (火)	0.036	0.049
	14 (水)	0.044	0.060
	15 (木)	0.031	0.052
値	16 (金)	0.011	0.021
	17 (土)	0.015	0.046
	18 (日)	0.010	0.014
	19 (月)	0.015	0.031
	20 (火)	0.023	0.045
	21 (水)	0.035	0.054
	22 (木)	0.029	0.063
	23 (金)	0.010	0.028
	24 (土)	0.024	0.049
	25 (日)	0.007	0.014
	26 (月)	0.015	0.033
	27 (火)	0.028	0.055
	28 (水)	0.040	0.056
	29 (木)	0.031	0.056
	30 (金)	0.009	0.012
	31 (土)	0.024	0.038
有効測定日数（日）		31	
測定時間（時間）		741	
月平均値（ppm）		0.024	
日平均値の最高値（ppm）		0.044	
1時間値の最高値（ppm）		0.063	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）		2	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物(NO + NO₂)測定結果[平成23年12月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (木)	0.024	75.0	0.046
	2 (金)	0.045	60.0	0.088
	3 (土)	0.027	74.1	0.079
	4 (日)	0.012	91.7	0.043
	5 (月)	0.058	50.0	0.242
	6 (火)	0.064	60.9	0.128
	7 (水)	0.107	35.5	0.259
	8 (木)	0.041	65.9	0.104
	9 (金)	0.022	72.7	0.042
	10 (土)	0.046	56.5	0.111
別	11 (日)	0.018	83.3	0.065
	12 (月)	0.084	38.1	0.271
	13 (火)	0.075	48.0	0.206
	14 (水)	0.085	51.8	0.187
	15 (木)	0.069	44.9	0.204
	16 (金)	0.015	73.3	0.028
	17 (土)	0.027	55.6	0.144
	18 (日)	0.011	90.9	0.018
	19 (月)	0.020	75.0	0.045
	20 (火)	0.030	76.7	0.078
値	21 (水)	0.076	46.1	0.194
	22 (木)	0.066	43.9	0.293
	23 (金)	0.012	83.3	0.029
	24 (土)	0.049	49.0	0.185
	25 (日)	0.008	87.5	0.016
	26 (月)	0.021	71.4	0.057
	27 (火)	0.061	45.9	0.246
	28 (水)	0.088	45.5	0.190
	29 (木)	0.084	36.9	0.231
	30 (金)	0.010	90.0	0.017
	31 (土)	0.031	77.4	0.063
有効測定日数(日)		31		
測定時間(時間)		740		
月平均値(ppm)		0.045		
日平均値の最高値(ppm)		0.107		
1時間値の最高値(ppm)		0.293		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		63.1		

注:1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2.NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\begin{aligned} & \text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) \\ &= (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和}) / \\ & \quad (\text{NO及びNO}_2\text{が同時測定されている時間の} \\ & \quad \text{NO+NO}_2\text{濃度の日(月)間にわたる総和}) \end{aligned}$$

3.大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

大気質様式第6号（埋立地関連）

浮遊粒子状物質測定結果[平成23年12月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (木)	0.007	0.016
	2 (金)	0.014	0.025
	3 (土)	0.011	0.024
	4 (日)	0.007	0.018
	5 (月)	0.013	0.024
	6 (火)	0.020	0.043
	7 (水)	0.033	0.057
	8 (木)	0.024	0.036
	9 (金)	0.009	0.023
	10 (土)	0.017	0.033
別	11 (日)	0.015	0.032
	12 (月)	0.029	0.048
	13 (火)	0.025	0.042
	14 (水)	0.025	0.047
	15 (木)	0.023	0.055
	16 (金)	0.006	0.019
	17 (土)	0.012	0.032
	18 (日)	0.015	0.027
	19 (月)	0.015	0.029
	20 (火)	0.011	0.019
値	21 (水)	0.029	0.056
	22 (木)	0.039	0.063
	23 (金)	0.009	0.027
	24 (土)	0.014	0.029
	25 (日)	0.009	0.024
	26 (月)	0.011	0.025
	27 (火)	0.012	0.025
	28 (水)	0.021	0.042
	29 (木)	0.032	0.056
	30 (金)	0.011	0.026
	31 (土)	0.014	0.026
有効測定日数（日）		31	
測定時間（時間）		737	
月平均値（mg/m ³ ）		0.017	
日平均値の最高値（mg/m ³ ）		0.039	
1時間値の最高値（mg/m ³ ）		0.063	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果(風向・風速) [平成23年12月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多風向 16方位
		平均風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日別	1 (木)	1.9	3.5	N	N
	2 (金)	1.6	2.7	NE	NNE
	3 (土)	2.0	3.5	WNW	N
	4 (日)	1.5	2.8	W	NW
	5 (月)	1.1	2.2	NE	NW
	6 (火)	1.2	2.4	NE	N
	7 (水)	1.0	2.4	W	W, WNW
	8 (木)	1.3	2.9	WNW	WNW
	9 (金)	2.5	4.7	WNW	N
	10 (土)	1.7	3.9	NW	WNW
	11 (日)	1.8	3.5	WNW	WNW
	12 (月)	1.1	2.7	W	WNW
	13 (火)	0.9	1.9	ENE	N
	14 (水)	0.9	1.6	SW	SW
	15 (木)	1.6	3.6	WNW	WNW
値	16 (金)	3.6	5.5	WNW	WNW
	17 (土)	2.4	5.4	WNW	WNW
	18 (日)	3.0	4.9	WNW	WNW
	19 (月)	2.6	4.0	WNW	WNW
	20 (火)	1.9	4.1	WNW	WNW
	21 (水)	1.4	3.5	W	WNW
	22 (木)	2.0	4.7	WNW	WNW
	23 (金)	2.4	3.9	N	WNW
	24 (土)	2.2	4.1	WNW	NNW
	25 (日)	4.4	6.9	WNW	WNW
	26 (月)	3.4	5.2	WNW	WNW
	27 (火)	1.7	3.9	N	N
	28 (水)	0.8	2.0	ESE	E
	29 (木)	1.9	4.5	N	N
	30 (金)	2.7	5.5	N	N
	31 (土)	0.9	1.7	SSW	E
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.9			
月最大風速 (m/s)		6.9			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風向別出現頻度及び風向別平均風速[平成23年12月分]

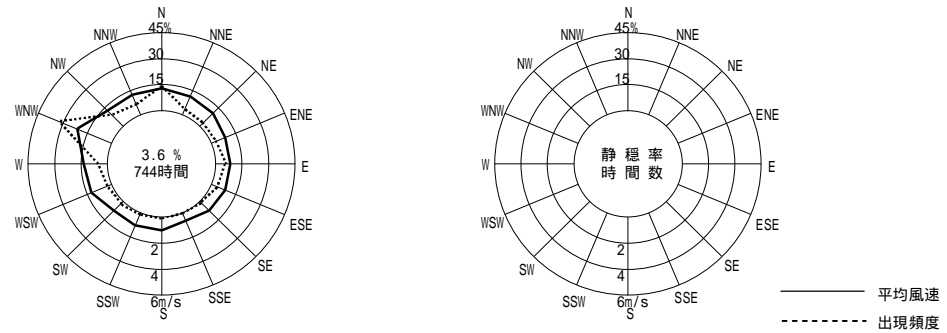
方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	34	26	23	38	26	9	5	5	7	10	20	50	237	64	54	109	27	744
頻度(%)	4.6	3.5	3.1	5.1	3.5	1.2	0.7	0.7	0.9	1.3	2.7	6.7	31.9	8.6	7.3	14.7	3.6	-
平均風速(m/s)	1.5	1.4	1.0	1.1	1.0	1.0	0.6	0.9	1.0	1.0	1.7	1.8	2.8	1.8	1.8	1.8	0.3	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図[平成23年12月分]

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:50	8:30	9:10	10:00	9:40	-	-	
透明度 [m]	6.4	6.1	5.8	5.2	5.5	5.2 ~ 6.4	5.8	
水温 []	15.7	16.4	15.8	16.3	16.3	15.7 ~ 16.4	16.1	
	17.4	18.1	18.1	18.0	17.7	17.4 ~ 18.1	17.9	
塩分 [-]	27.5	29.3	28.9	29.8	31.6	27.5 ~ 31.6	29.4	
	33.1	32.6	32.8	32.6	32.6	32.6 ~ 33.1	32.7	
濁度 [度(カリン)]	<1	<1	<1	<1	<1	<1 ~ <1	<1	
	1	3	1	2	1	1 ~ 3	2	
浮遊物質量(S S) [mg/L]	1	2	2	3	2	1 ~ 3	2	
	3	1	2	3	3	1 ~ 3	2	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ~ 8.0	-	
	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0 ~ 8.0	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	1.6	1.6	1.2	1.2	2.0	1.2 ~ 2.0	1.5	
	1.2	1.0	1.0	2.0	2.0	1.0 ~ 2.0	1.4	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	7.8	7.6	7.9	7.7	7.9	7.6 ~ 7.9	7.8
		6.6	6.9	6.6	6.7	7.0	6.6 ~ 7.0	6.8
	飽和度 [%]	93	93	95	94	98	93 ~ 98	95
		84	89	85	86	89	84 ~ 89	87
全窒素 (T - N) [mg/L]	0.70	0.74	0.77	0.70	0.53	0.53 ~ 0.77	0.69	
	0.33	0.37	0.36	0.37	0.36	0.33 ~ 0.37	0.36	
全燐 (T - P) [mg/L]	0.037	0.040	0.043	0.047	0.034	0.034 ~ 0.047	0.040	
	0.029	0.031	0.032	0.033	0.033	0.029 ~ 0.033	0.032	
クロロフィル a (chl.a) [µg/L]	2	1	1	1	2	1 ~ 2	1	
	1	1	1	1	2	1 ~ 2	1	

注) 上段: 上層(海面下1m)
下段: 下層(海底面上2m)

特記事項

水質様式第6号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定：総括））

[平成23年12月分]

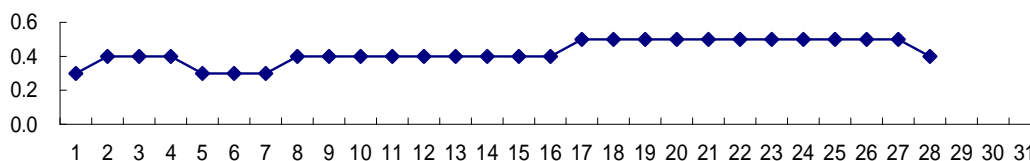
項目	区分	放流水			
		最小値	～	最大値	平均値
濁度	[度(カマ)]	0.3	～	0.5	0.4
水温	[]	9.4	～	17.5	12.5
pH	[-]	7.6	～	8.0	7.8
COD	[mg/L]	5.0	～	8.2	7.1
DO	[mg/L]	7.3	～	8.9	8.2
特記事項		・放流槽DO計設置により 12月から監視5項目を 放流槽データに変更			

水質様式第7号

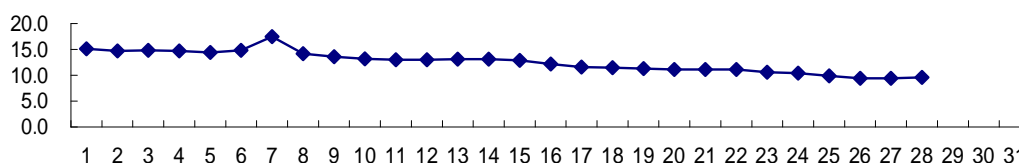
水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水（連続測定））

[平成23年12月分]

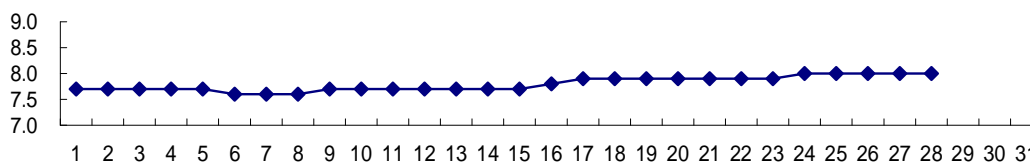
濁度[度(カリン)]



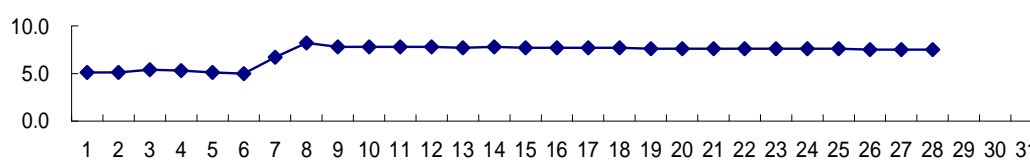
水温[]



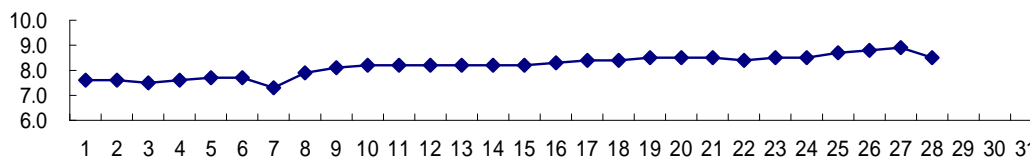
水素イオン濃度(pH)[-]



化学的酸素要求量(COD)[mg/L]



溶存酸素量(DO)[mg/L]



- 12/1 台船付近、油漂着の為、水処理 1日9:00～10:00まで停止。
採水を行い、中和処理で対応。
水処理運転再開時、放流口にて放流水が異常無いことを確認。
- 12/6～7 台船付近、油漂着の為、水処理 6日15:50～7日9:00まで停止。
採水を行い、中和処理で対応。
水処理運転再開時、放流口にて放流水が異常無いことを確認。
- 12/28 年末年始休みの為、8:20に水処理停止。（～1/4まで）

水質様式第8号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水）[平成23年12月分]

区分 項目 調査日	放流水			内水		
	時刻	SS	FSS	時刻	SS	FSS
		[mg/L]	[mg/L]		[mg/L]	[mg/L]
12/6(火)	9:35	3.0	1.6	10:55	5.3	2.5
12/13(火)	9:40	2.6	1.3	9:55	3.9	2.0
12/20(火)	7:55	1.8	1.1	7:50	2.9	1.7
12/27(火)	9:40	2.1	1.3	9:55	3.6	1.9
平均値		2.4	1.3		3.9	2.0
最小値		1.8	1.1		2.9	1.7
最大値		3.0	1.6		5.3	2.5

特記事項

水質様式第9号

水質調査結果（埋立中の濁り等監視 廃棄物処分場放流水、内水）[平成23年12月分]

調査日：平成23年12月6日

項目	区分	
	放流水	内水
時刻	9:35	10:55
pH[-]	7.7(16)	8.4(17)
COD[mg/L]	9.6	14
T-N[mg/L]	3.9	4.8

特記事項
